

平成 27 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 28 年 5 月

倉吉家畜保健衛生所

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6 頁
11	不納欠損額調べ	6 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9 頁
14	財産に関する調べ	9 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	11 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	11 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	12 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12 頁
20	備品の処分状況調べ	13 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	事業別予算執行状況	14 頁
23	家畜保健衛生事業	14 頁
24	家畜病性鑑定事業	17 頁
25	意見、要望等	18 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
 (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
/	衛生指導担当	家畜保健衛生指導に関すること 獣医事に関すること 動物薬事に関すること 畜産振興に関すること
	防疫担当	家畜伝染病の防疫に関すること
	病性鑑定室	家畜の病性鑑定の特殊検査に関すること 牛海綿状脳症（BSE）に関すること

4 職員の定員、現員調べ

（平成28年4月1日現在）

区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	27.4.1 現 在	当 該 年 度	27.4.1 現 在	当 該 年 度	27.4.1 現 在	当 該 年 度	27.4.1 現 在	
定 員	0	0	15	15	0	0	15	15	
現 員	(0) 0	(0) 0	(0) 14	(1) 15	(0) 0	(0) 0	(0) 14	(1) 15	
過不足(△)	0	0	△1	0	0	0	△1	0	欠員：1名
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	3	2	3	3	7	6	事 務：1名 現業技術員：1名 獣 医 師：1名 ----- (死亡牛一時保管施設) 獣 医 師：2名 畜産技術員：2名

5 役付職員の調べ

（平成28年5月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
所 長	山里 比呂志	5年 1月	継続勤務期間 6年1月
病性鑑定室長	山崎 浩一	2年 1月	
次 長	野田 一臣	3年 1月	出納員
課 長 補 佐	森 利之	2年 1月	
課 長 補 佐	青萩 芳幸	1年 1月	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要																																
<p>家畜伝染病予防事業</p> <p>決算見込額 7,633千円 (財源内訳) 国庫支出金 4,082千円 一般財源 1,034千円 その他 2,517千円</p> <p>○将来ビジョン I ひらく (4) 素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p> <p>○政策項目 II 産業未来・雇用創造 3 「食のみやこ鳥取県」の確立</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査とまん延防止措置を行う。 ・牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、県内における48カ月齢以上の死亡牛に対するBSE検査を行う。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○家畜伝染病の摘発 家畜伝染病(家畜伝染病予防法第2条): 0件 届出伝染病(家畜伝染病予防法第4条、同施行規則第2条): 21件</p> <p>○家畜伝染病予防法第5条に基づく告示検査</p> <table border="0"> <tr> <td>〈牛〉</td> <td>・ブルセラ病</td> <td>:</td> <td>861頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・結核病</td> <td>:</td> <td>812頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ヨネ病</td> <td>:</td> <td>2,237頭</td> </tr> <tr> <td>〈鶏〉</td> <td>・ニューカッスル病</td> <td>:</td> <td>5,339羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ひな白痢</td> <td>:</td> <td>4,540羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・マイコプラズマ病</td> <td>:</td> <td>4,540羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高病原性鳥インフルエンザ</td> <td>:</td> <td>450羽</td> </tr> <tr> <td>〈蜜蜂〉</td> <td>・ふそ病</td> <td>:</td> <td>33群</td> </tr> </table> <p>○死亡牛BSE検査 ・検査頭数: 251頭</p> <p>○特定家畜伝染病の侵入防止対策 ・高病原性鳥インフルエンザ: 関係者・生産者を対象とした研修会の開催 1回</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高病原性鳥インフルエンザ発生時、関連周辺防疫作業(消毒ポイント設置運営等)が重要。国防疫マニュアルの改正に伴い、家畜保健衛生所は現地防疫チームのマニュアルを改訂すると共に関連周辺防疫作業の整理をした。また、中部総合事務所が作成する中部地区の地域防疫対策マニュアル全体についても、中部総合事務所と協議を重ね、改訂に協力した。 ・地域防疫対策マニュアル改正作業に係ることにより、関係各所(県、市町、団体等)間の連携強化、情報共有体制の構築を図った。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種検査を実施し、届出伝染病21件(牛白血病12件、牛ウイルス性下痢症6件、破傷風(牛)1件、豚丹毒2件)を摘発するとともに、発生農場に畜舎消毒、薬剤投与等を指示することでまん延を防止した。 ・死亡牛のBSE検査を実施し全ての陰性を確認することで、安全で安心できる畜産物生産体制構築の一助とした。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生時に関係各所が防疫マニュアルに基づく的確な対応ができるよう防疫演習等による十分な準備が必要である。 ・畜産農家が飼育する家畜以外で、口蹄疫では羊や山羊、高病原性鳥インフルエンザでは愛玩鶏やアヒルなどが防疫措置の対象となるため、市町と連携してこれらの飼養にかかる情報収集に努め、飼育者に対する指導を継続して対応する必要がある。 	〈牛〉	・ブルセラ病	:	861頭		・結核病	:	812頭		・ヨネ病	:	2,237頭	〈鶏〉	・ニューカッスル病	:	5,339羽		・ひな白痢	:	4,540羽		・マイコプラズマ病	:	4,540羽		・高病原性鳥インフルエンザ	:	450羽	〈蜜蜂〉	・ふそ病	:	33群
〈牛〉	・ブルセラ病	:	861頭																														
	・結核病	:	812頭																														
	・ヨネ病	:	2,237頭																														
〈鶏〉	・ニューカッスル病	:	5,339羽																														
	・ひな白痢	:	4,540羽																														
	・マイコプラズマ病	:	4,540羽																														
	・高病原性鳥インフルエンザ	:	450羽																														
〈蜜蜂〉	・ふそ病	:	33群																														

事業名	概	要
<p>家畜衛生対策事業</p> <p>決算見込額 16,945千円 (財源内訳) 国庫支出金 8,031千円 一般財源 8,881千円 その他 33千円</p> <p>○将来ビジョン I ひらく (4) 素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p> <p>○政策項目 II 産業未来・雇用創造 3 「食のみやこ鳥取県」の確立</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜衛生関連情報の収集と提供により、家畜衛生水準を維持、充実させるとともに、家畜の生産性を阻害する慢性疾病を排除し、生産性の改善と経営の安定を図る。また、動物用医薬品の使用、管理、流通の適正化を推進し、安全で安心できる畜産物の生産を指導する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○畜産物の安全確保対策 飼料安全法に基づき、飼料中に肉骨粉が含まれないことの確認検査を実施した。</p> <p>1) 牛飼養農家巡回指導 管内牛飼養農家10戸を対象に巡回指導</p> <p>2) 肉骨粉検査 地域流通飼料製造業1業社1品目を対象に収去検査を実施</p> <p>○診断予防技術向上対策 全国規模で新しい診断技術を実証するための検査を実施 牛1戸(33頭 牛ヨーネ病)</p> <p>○動物用医薬品危機管理 動物用医薬品の適正管理、流通及び使用について指導を行うとともに、動物用医薬品の品質検査を行い監視した。</p> <p>1) 動物用医薬品使用実態調査・指導 管内酪農農家69戸(全戸)を対象に調査指導を実施</p> <p>2) 生産農家での薬剤耐性菌検査 牛2戸(4検体)、豚2戸(4検体)、鶏2戸(4検体)</p> <p>3) 動物用医薬品販売業者への立入検査 18店舗(管内全店舗)への立入検査を実施</p> <p>○地域衛生管理対策 地域内の慢性疾病等の検査・指導を行うとともに、飼養管理状況の確認を行い、発生予防及びまん延防止に役立つ仕組みづくりを検討した。</p> <p>1) 牛ウイルス性下痢症対策 公共牧場を中心に県内利用農家の清浄化及び県外からの侵入まん延防止対策 牛38戸、380頭を対象に検査1頭の持続感染牛を摘発</p> <p>2) 乳房炎・幼畜疾病対策 畜産経営に影響の大きい乳房炎、下痢症及び肺炎の監視検査を実施。 乳牛138検体、牛5戸、豚5戸 検討会各1回開催</p> <p>3) 牛白血病清浄化対策 モデル農場調査分析・指導 和牛繁殖一貫経営農場1戸 検討会1回開催</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛白血病に罹患しにくい遺伝子を指標とした牛白血病制圧戦略を試行中。また遺伝子に関連する細胞上の特定抗原の測定を独自に実施する等農場への指導と並行し先進的な研究を実施した。 ・農場と密接な連絡関係の構築を早期診断・対策の手段ととらえ、農場への訪問指導の頻度を上げることに努めた。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の早期発見と迅速な対応、予防対策の徹底などに取り組み、農場には経済効果が得られたものとする。とりわけ牛ウイルス性下痢粘膜炎では1頭の持続感染牛を早期に摘発し、管内清浄化へ寄与した。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛白血病対策では引き続き農家への指導と並行し、研究を進め、その成果を現場にフィードバックさせることが必要である。 ・乳房炎や牛ウイルス性下痢症等、農場の経済的損失につながる感染症の効果的な対処方法を広く普及、検証していくため、農場勉強会等関係者が協議検討する場・枠組の構築が必要。 	

7 収入証紙取扱額調べ

該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成27年12月31日現在)

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料		12	90,980	90,980	0	0		
	計(節)		12	90,980	90,980	0	0		
目計			12	90,980	90,980	0	0		
合計			12	90,980	90,980	0	0		

(3) 手数料

(平成27年12月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考	
目	節	細節								
農林水産業 手数料	畜産業手数料	家畜防疫手数料	55件	1,769,480	1,769,480	0	0	鳥取県手数料 徴収条例		
		〈内訳〉								
		ヨーネ病(ELISA)	(1,641頭)	1,115,880					@680	
		結核病	(590頭)	141,600					@240	
		ブルセラ病	(810頭)	194,400					@240	
		家禽サルモネラ感染症	(3,670羽)	157,810					@43	
		マイコプラズマ病	(3,670羽)	157,810					@43	
		ふそ病	(33群)	1,980					@60	
		家畜保健衛生所手数料	17件	261,610	261,610	0	0		鳥取県家畜保 健衛生所の名 称、位置及び 定める条例	
		〈内訳〉								
	ヨーネ病(ELISA)	(1頭)	2,420				@2,420			
	結核病	(24頭)	15,360				@640			
	ブルセラ病	(6頭)	5,700				@950			
	カンピロバクター病	(1頭)	2,520				@2,520			
トリコモナス病	(1頭)	1,090				@1,090				
牛ウイルス性下痢症	(61頭)	147,620				@2,420				
牛白血病	(34頭)	82,280				@2,420				
検査証明書	(11件)	4,620				@420				
	計(節)		72件	2,031,090	2,031,090	0	0			
	目計		72件	2,031,090	2,031,090	0	0			
	合計		72件	2,031,090	2,031,090	0	0			

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入 該当なし

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成27年12月31日現在)
(単位:円)

収入科目(節)	収入金額	備考
畜産業手数料	361,440	家畜防疫手数料(40件)
	176,660	家畜保健衛生所手数料(12件)
合計	538,100 (52件)	

イ つり銭の状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料移出状況調べ

(1) 負担金

(平成27年12月31日現在)

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
家畜保健衛生費								
新規以外のもの						10,000		倉吉地区安全運転運行管理者協議会
目計						10,000		
合計						10,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成27年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日 履 行 検 査 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)								
家畜保健衛生費	国補	産業廃棄物(汚泥)の収集運搬及び処理業務委託	三光(株)	50 60,000 (単価契約)	(27.4.24) 50 60,000 (単価契約)	27.4.24 ~ 28.3.31	27.4.21 (免除)	27.6.10 外	精算	27.7.7 外	828,900	特別管理産業廃棄物(感染性汚泥)の収集運搬、処分が可能な業者
							随	27.6.10 外				
家畜保健衛生費	単県	ヒートポンプエアコン保守点検業務委託	(株)ヤマト 米子支店	367,000	(27.5.28) 356,400	27.5.28 ~ 27.7.31	27.5.25 (免除)	26.6.24	精算	27.7.17	356,400	特殊構造のため特約店に限定される。県内特約店は1社のみであるため
							随	26.6.24				
家畜保健衛生費	単県	紫外可視分光光度計点検業務委託		260,000	(27.8.25) 248,400	27.8.25 ~ 27.12.28	27.8.21 (免除)	27.11.18	精算	27.12.1	248,400	
							随	27.11.18				
家畜保健衛生費	単県	マルチピーズシヨッカー保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	200,070	(27.9.28) 200,016	27.9.28 ~ 27.12.28	27.8.28 (免除)	27.10.15	精算	27.10.23	200,016	
							随	27.10.16				
家畜保健衛生費	単県	リアルタイムPCR保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	380,000	(27.10.1) 372,600	27.10.1 ~ 27.12.28	27.9.11 (免除)	27.10.29	精算	27.11.13	372,600	
							随	27.10.29				

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日	完 了 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年月日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)			(契約保証金 納付等年月日)	履 行 検 査 年月日				
予定価格が20万 円未満のもの											578,664	
目 計											2,584,980	
合 計											2,584,980	

1 3 工事請負費調べ 該当なし

1 4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成27年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所 在 地	前 年 度 末		本 年 度 異 動 状 況						本 年 度 末		備 考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目131	146.00	6,935,000	増加	H				H	146.00	6,935,000	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	991.24	12,924,275	増加	H				H	991.24	12,924,275	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目133	563.91	34,556,771	増加	H				H	563.91	34,556,771	
					減少	H				H			
計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	
合 計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	

イ 建物

(平成27年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	1,176.89	451,155,600	増加	H				H	1,176.89	451,155,600	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	78.00		増加	H				H	78.00		
					減少	H				H			
	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	58.00		増加	H				H	58.00		
					減少	H				H			
計			1,312.89	451,155,600						1,312.89	451,155,600		
合計			1,312.89	451,155,600						1,312.89	451,155,600		

- ウ 山林 該当なし
- エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
- オ 物権 該当なし
- カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	21,829 円	91,046 円	45,929 円	66,946 円	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	21,829	91,046	45,929	66,946	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成27年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価 円・年額	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	薬品冷蔵庫 設置場所	倉吉市清谷町 二丁目132	1.0㎡	H27.1.26	H22.1.18	H27.4.1 ～ H28.3.31		4,980	鳥取市末広温泉町723 (公社)鳥取県畜産推進機構 会長 高見俊雄	
計								4,980		
合計								4,980		

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積(㎡)	貸付(使用)料(月額)(円)
行政財産	倉吉市清谷町二丁目132	10.81	1,000

イ 異動状況
(行政財産)

(平成27年12月31日現在)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免		うち減免		うち減免				
4月	15人	人	人	人	人	15人	5人	10,000円		
5月	15					15	5	10,000		
6月	15					15	5	10,000		
7月	15					15	5	10,000		
8月	15					15	5	10,000		
9月	15	1	0			14	5	9,000		
10月	14					14	5	9,000		
11月	14					14	5	9,000		
12月	14					14	5	9,000		
1月										
2月										
3月										
合計								86,000円	86,000円	0円

- 18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 19 寄付物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成27年12月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不 用 決 定 年月日	不用とする 理 由	処 分				備 考
							売払・棄却 の別	売払方法・棄却 理由	処 分 年月日	売払額・ 処分費用	
密閉式自動固定包埋 装置 カラ精機	1 台	H9.3.31	6 年	4,955,500 円	H27.9.18	機器更新 (修理不能)	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H27.9.18	0円	
マイクロレトリダー カライスクラシック	1 台	H14.3.27	5 年	787,500 円	H27.11.24	機器更新 (修理不能)	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H27.11.26	0円	
合 計	2 台									0円	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成27年12月31日現在)

現金、有価 証券又は 物品名	数 量	金 額	亡失、損傷 年月日、時	同左場所	同左概要	報 告 年月日	会計局の 審査結果
公用車	1台	91,141円 (当方負担無し)	平成27年4月16日	国道9号 (東伯郡北 栄町国坂)	交差点で停車中の 当方車輛に左折し てきた相手方車両 が追突。当方車両 の左後部と相手車 両の右前部が破損。	平成27年4月16日	「物品損傷報告 DB」にて報告 済(当方負担無 し)
合 計							

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成27年12月18日 ~ 平成28年 1月15日	・有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		

2.2 事業別予算執行状況調べ

目 名	家畜保健衛生費	(平成27年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
家畜伝染病予防事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜衛生対策事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜保健衛生所管理運営事業	家畜保健衛生所の円滑な運営に要する経費 ・人件費 非常勤職員報酬、共済費 ・備品購入費 必要な検査機器、図書の購入 ・委託料 設備保守点検等委託経費 ・標準事務費 旅費、光熱水費、燃料費、役務費、消耗品費等 ・その他	

2.3 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成27年2月1日		前年同期		備 考	
乳用牛	65戸	4,941頭	67戸	4,885頭	△ 2戸	56頭
肉用牛	125戸	11,021頭	124戸	10,620頭	1戸	401頭
豚	18戸	16,650頭	21戸	17,348頭	△ 3戸	△ 698頭
採卵鶏	12戸	107,806羽	12戸	109,465羽	0戸	△ 1,659羽
ブロイラー	24戸	1,585,813羽	23戸	1,570,013羽	1戸	15,800羽

(2) 各事業別の実施状況調べ

(平成27年12月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備 考
家畜伝染病予防事業	ブルセラ病	検査	4月～3月	管内一円	1,250頭	865頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除55頭を含む
	結核病	〃	〃	〃	950頭	681頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除91頭を含む
	コネ病(ELISA)	〃	〃	〃	2,645頭	2,120頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除165頭 家畜伝染病予防法第51条による検査314頭を含む
	牛伝染性疾病	〃	〃	〃	17,500頭	6,047頭	
	豚伝染性疾病	〃	〃	〃	17,500頭	5,560頭	
	鶏伝染性疾病	〃	〃	〃	168,000羽	14,320羽	
	馬伝染性疾病	〃	〃	〃	10頭	0頭	

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病予防事業	めん山羊伝染性疾病	検査	4月～12月	管内一円	35頭	0頭	
	ひな白痢	〃	〃	〃	3,500羽	3,670羽	
	マイコプラズマ病	〃	〃	〃	3,500羽	3,670羽	
	ニューカッスル病	〃	〃	〃	5,000羽	4,029羽	種鶏3,670羽
	ふそ病	〃	9月	〃	100群	33群	
	アパネ病等	〃	6月～11月	〃	72頭	41頭	
	牛ウイルス性下痢・粘膜病	〃	4月～3月	〃	292頭	147頭	
	牛サルモネラ	〃	〃	〃	100頭	94頭	
	牛白血病	〃	〃	〃	1,450頭	479頭	
	オースキー病	〃	〃	〃	530頭	482頭	
	豚コレラ抗体	〃	〃	〃	270頭	222頭	
	豚サルモネラ症	〃	〃	〃	100頭	66頭	
	PRRS抗体	〃	〃	〃	260頭	188頭	
	豚流行性下痢	〃	〃	〃	1,080頭	216頭	
	鳥インフルエンザ	〃	〃	〃	490羽	360羽	
	伝染性気管支炎	〃	〃	〃	270羽	789羽	採卵鶏20羽
	伝染性アブダリウス嚢病	〃	〃	〃	270羽	769羽	
	鶏サルモネラ症	〃	〃	〃	35戸	27戸	
	ブルセラ病	証明	〃	〃	—	11件・30頭	
	結核病	〃	〃	〃	—	11件・30頭	
	マネ病	〃	〃	〃	—	11件・31頭	
死亡牛BSE検査	検査	〃	〃	県内	350頭	193頭	省令改正により平成27年4月より対象月齢が24ヶ月齢以上から48ヶ月齢以上に変更
種畜検査(牛)	〃	〃	〃	管内一円	—	37頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除16頭を含む
病性鑑定	〃	〃	〃	〃	—	172件	

事業別	業務内容		実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考	
家畜衛生対策事業	畜産物の安全性確保対策		検査指導	4月～3月	管内一円	1業者・1品目	1業者 1品目	肉骨粉検査	
						牛：10戸	牛：10戸	立入検査	
	診断予防技術向上		検査指導	4月～3月	管内一円	1戸・20頭	1戸・33頭	牛ヨ一ネ病	
	動物用医薬品危機管理		検査指導	4月～3月	管内一円	酪農：71戸	酪農 69戸	動物医薬品使用実態調査	
						7戸・7検体	6戸・6検体	耐性菌実態調査	
						1業者・1品目	0業者 0品目 (対象なし)	動物医薬品品質検査	
			立入検査	〃	〃	19店舗 (H28.1 1店舗廃止)	0店舗	H28.3検査予定 (18店舗)	
			許可更新等	〃	〃	—	許可更新 0件 書換交付 0件		
	地域衛生管理対策	牛ウイルス性下痢粘膜病対策		検査	4月～3月	管内一円	牛：210戸	牛：38戸 380頭	県牧利用農場、 県外導入農場、 発生農場対象
		乳房炎		検査指導	4月～3月	管内一円	158検体	138検体	バルク乳の検査
				会議等	〃	〃	検討会議 1回以上	検討会議 1回	
		幼獣疾病対策		調査指導	4月～3月	管内一円	牛 5戸：豚 5戸 ×4回	牛 5戸：豚 5戸 ×3回	
				会議等	〃	〃	検討会議1回以上	検討会議 1回	
牛白血病清浄化対策		調査分析	4月～3月	管内一円	牛 1戸	牛1戸			
		会議等	〃	〃	検討会議1回以上	検討会議 0回			

2.4 家畜病性鑑定事業

(1) 家畜病性鑑定の状況調べ

(平成27年12月31日現在)

家畜別	病 性 別	受付件数	鑑定済件数	鑑定未済件数
乳用牛	ウイルス遺伝子検査	18	17	1
	ウイルス検査	7	7	
	ウイルス抗体検査	3	3	
	サーベイランス事業	8	8	
	血液プロファイル	5	4	1
	細菌検査	4	3	1
	細菌遺伝子検査	1	1	
	飼料検査	3	3	
	病理検査	9	6	3
	小 計	58	52	6
肉用牛	ウイルス遺伝子検査	21	20	1
	ウイルス検査	2	2	
	血液プロファイル	18	18	
	細菌検査	9	9	
	飼料検査	2	2	
	病理検査	11	8	3
	小 計	63	59	4
豚	サーベイランス事業	7	7	
	細菌遺伝子検査	1	1	
	細菌検査	2	2	
	病理検査	5	4	1
	小 計	15	14	1
鶏	サーベイランス事業	29	29	
	細菌検査	3	3	
	病理検査	3	3	
	小 計	35	35	
その他	細菌検査	1	1	
	小 計	1	1	
合 計		172	161	11

(2) 項目別病性鑑定実施状況調べ

(平成27年12月31日現在)

区 分		細菌	ウイルス	寄生虫	生化学	病理	環境保全	その他	計
乳用牛	件数	5	36		8	10			59
	検体数	51	602		60	10			723
肉用牛	件数	10	25		21	11			67
	検体数	23	109		183	12			327
豚	件数	4	7			5			16
	検体数	11	565			13			589
馬	件数								
	検体数								
羊・山羊	件数								
	検体数								
鶏	件数	3	30			3			36
	検体数	13	914			11			938
その他	件数	1							1
	検体数	1							1
計	件数	23	98		29	29			179
	検体数	99	2190		243	46			2578

(3) BSE検査実績

死亡牛検査 193頭 (平成27年12月31日現在)

25 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし